

日本の作曲家シリーズ(4)

岡島雅興個展 水の流れのように…

MANIFESTATION 《発露》(1992)

ソロ マリンバのために

二つのワルツ他 (1991~2) (2曲委嘱初演)

女声合唱とピアノのために

女声合唱組曲「水の女」全曲 (1988)

女声合唱とピアノのために

草月夜のことば (1992)

ソプラノ、フルート、ピアノのために

夢の夢 (1990)

クラリネットとピアノのために

ÉPITAPHE I (1976)

バスクラリネット、打楽器、コントラバス、チェロ、ヴィオラのために

ÉPITAPHE II (1992) (委嘱初演)

バスクラリネット、打楽器、コントラバス、チェロ、ヴィオラ、マリンバのために

吉原すみれ	打楽器
朝倉 蒼生	ソプラノ
板倉 康明	クラリネット、バスクラリネット
一戸 敦	フルート
廣狩 亮	ヴィオラ
村井 将	チェロ
志賀 信雄	コントラバス
田邊 由紀	マリンバ
高須亜紀子	ピアノ
名古屋女声合唱団	
谷 鈴代	指揮
筒井 陽子	ピアノ



企画・構成・作曲 岡島 雅興

午後7時開演
'93年2月19日(金) 横浜市教育文化ホール
主催 横浜市

◆申込方法

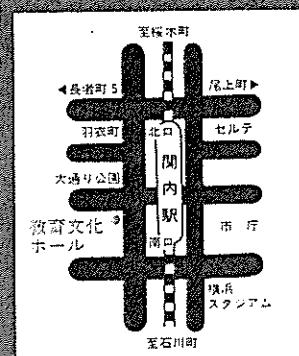
往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・コンサート名を記入して

〒221 横浜市中区港町1-1 横浜市市民局文化事業課まで。

500人無料招待(応募多数の場合抽選)。締切'93年1月30日(土)必着。

中学生以上の方に限ります。1枚のはがきで1人ずつ申し込んで下さい。

開場は午後6時30分。○問合せ／市民局文化事業課 045-671-3714



水の流れのように…

調性、非調性、どのような音組織で書かれようと音楽の本質は変わるべきもない。言葉があろうと、なかろうと音楽は語りかける。本質的に音楽は歌であるから……

詩集「水の女」との出逢いが詩人、磯村英樹氏との出逢いであり、その数々の詩作を通して彼を識った。人間の根源的な愛と、柔軟な生命体の恢復を平易な作風と卓越した物語性により表現した世界が、今も私の心を捉え続けている。今回は彼との出逢いの原点である「水の女」と、昨年作曲した社会風刺に繋がる虫の声をソプラノに託した歌曲もプログラムに加えた。

満天の星のごとく、絶え間なく流れる水のごとく無数に存在する音を自然体で汲み取ること。各奏者の意志と意志が拮抗し、溶け合う。「エピタフⅠ」は低音楽器の温かく、深い音色の中に、「夢の夢」ではクラリネットとピアノが私の中の虚と実を紡ぐ。私にとって器楽曲は、言葉の更に向こう側に存在する歌を求め、それを自分の中に確認する行為である。

私の裡にある音楽は表出される形こそ違え、私の心を示している筈である。聴いてくださる人の心に、私のうたごころが水の流れのように沁みとおって戴ければ幸いである。

岡 島 雅 興

岡島 雅興

東京芸術大学大学院修了。故池内友次郎氏に師事。
在学中に毎日コンクール入賞。深新會等の作曲家同人として作品を発表、また日本現代音楽協会、日本作曲家協議会の会員として作品を発表、出版をする。作品には室内楽、歌曲、合唱曲の他、詩篇42篇等、日本語による宗教曲作品がある。現在、フェリス女学院助教授、東京芸術大学講師、横浜音楽文化協会幹事。